

「神話創世RPGアマデウス」シナリオ

「新宿区連続行方不明事件」

作成日：2015年12月28日

作成者：ドラゴンブック編集部・稲垣健

●本テキストを読む前に

本書は「神話創世RPG アマデウス」のシナリオです。本シナリオをプレイヤーとして遊ばれる予定の方は、シナリオを読まないようにお願いします。

●はじめに

- ・このシナリオは、「神話創世RPG アマデウス」の4人用シナリオです。
- ・プレイ時間は2時間を想定しています。
- ・使用キャラクターは、「ダウンロードページ」にあるサンプルキャラクター、「無双の雷鳴（ゼウスの子）」「祈念の志士（ヘラの子）」「天翔る光明（アポロンの子）」「導きの日輪（アマテラスの子）」の使用を想定しています。

●シナリオの概要

新宿駅周辺で連続で人々が消える事件が発生すると同時に絶界化した。事件の手がかりを追うPCたちは、事件の背後に超宇宙的な存在と結びついた科学者の存在を知る。そして、事件の被害者は身近なところにもいた――。

●導入フェイズ

①予言の配布

各PCに対応した予言カードを配布してください。

②任務の説明

※プレイ時間短縮のため、PCたちは既にパーティを組んでいる、という前提で始めます。余裕があれば、出会いのシーンを演出しても良いでしょう。

PCたちは万神殿に集められ、ヘラクレスから以下の説明を受けます。

- ・新宿駅周辺が絶界と化し、一般人が次々と行方不明になっている。明らかに「神話災害」だ。
- ・多彩な人種の人々が住む新宿は、様々な神群の勢力が水面下で牽制しあう、神たちの火薬庫とも言える場所だ。

- ・そんな危険な場所での事件のためか、エジプト神群は他勢力の陰謀の危険性があると考え、独自に調査・解決に向かっている。クトゥルフ神群は事態を静観しているようだ。
- ・我々はヤマト神群と手を組み、事件の解決にあたりたい。

③「活力の決定」

PCは各自 1D6 を振り、その値を活力に記入。

④冒険の準備

「儉約判定」の後、アイテム購入ができます。プレイ時間を短縮したい場合は、「儉約判定」のみ行わせて、「すぐに調査に向かってくれ」とヘラクレスに言わせて「アイテムの購入」は省略しても良いでしょう。

●冒険フェイズ

冒険フェイズに入る前に、以下の説明を行います。

- ・このシナリオは2サイクルまでに事件の黒幕を見つけられたら、2サイクル経過後に決戦フェイズに移行します。
- ・2サイクル終了時に黒幕を見つけられなかった場合は、1シーンずつ追加することができます。しかし、その場合は新たな被害者が増え、1シーンごとに黒インガが1点ずつ溜まります。

上記の説明後、予言「未知との遭遇」を公開してください。

その後、冒険フェイズのルールに従って進行してください。

◆シーン表について

本シナリオでは、以下の「新宿シーン表」を使用します。ゲーム的な効果はありませんので、GMは一部変更したり、別のシーン表を作成しても構いません。

【新宿シーン表】

- 1：夜の歌舞伎町。行き交う若者たちや道ばたで騒ぐ酔っ払いの声が入ってくる。
- 2：新宿都庁の屋上。ここから街が一望できる。
- 3：靖国通り。人々が慌ただしく行き交う。ここに何か手がかりがあれば良いのだが……。
- 4：新宿中央公園。都会の喧噪が嘘のように、静かな時間が流れている。
- 5：新宿駅東口アルタ前。巨大モニターの下で、待ち合わせをする人であふれかえっている。
- 6：新宿駅西口そば。飲食店やゲームセンター、パチンコ店が並ぶ一角。見上げると、黄色い潜水艦が描かれたゲームショップの看板も……。

◆マスターシーンについて

以下のマスターシーンは、特定の条件で行われます。

【マスターシーン①：エジプトの神子】

発動条件：以下のいずれかの条件で発動します。

条件1：誰かが「交流判定」「調査判定」で失敗し、シーンが終了した

条件2：もしくは1サイクル終了時

※「条件1」は、判定失敗時にPCが感じる徒労感を軽減させるために設定しています。

[シーン内容]

- ・登場PC：任意（条件1の場合、判定に失敗したPC）
- ・舞台：「新宿シーン表」で決定します。

新宿の街を歩くPCたちの前に、一人のキラキラな金属をたくさん身に着けた、浅黒い肌の雰囲気イケメンが現れます。

イケメンは、下記のことをPCたちに対して一方的に告げます。

- ・お前らが、この事件をこそこそかぎ回ってる新米アマデウスか。
- ・俺の名前はカーメン山田。偉大なるホルス神のアマデウスだ。
- ・群れて活動するなど、弱いアマデウスの証拠。この3レベル相当のアマデウス・カーメ

ン山田ならば一人でも事件を解決してやる。

・しかも、俺が優秀すぎるせいか、私のもとにはなぜか匿名でジャンジャン情報が届られているのだ！

・この情報に沿っていけば、事件解決は時間の問題だろうな。だが、貴様らには教えてやらん！

・せいぜい俺の邪魔にならないようにな！

と、さんざんに言って去っていきます。

その後、PCのうち1人だけ、カーメン山田に対する「想い」をプラスもしくはマイナスで取得することができます。

【マスターシーン②：失われた記憶】

発動条件：PC3の【真実】を他のPCが見て、その後「霊力判定」で成功したら発動します。

[シーン内容]

・登場PC：PC3

・舞台：「新宿シーン表」で決定します。

仲間の力により記憶が蘇ったPC3は、あの時の事を思い出していく……。

(舞台の場所)にいたあなた(PC3)は、白衣を着た「ユゴスよりの菌類」に不意を打たれ、昏倒。拘束され、新宿三丁目の外れにある、潰れた飲食店の中に連れ去られました。

その中の一室に放り込まれたあなた(PC3)が見たのは、あなたと同じようにさらわれて拘束された人々。そして、その先にある、手術台に寝かされ、脳をむき出しにされて、白衣を着たミ=ゴに何か埋め込まれる手術をされる人の姿だった……。

ここでPC3は、この異常な光景を目にして正気を保てたかどうか、「霊力」で判定します。失敗した場合、正気を失って「臆病2」の変調を受けます。

そしてあなた(PC3)も手術台に寝かされ、脳にメスを入れられそうになります。

PC3はここで逃げられるかどうか、【技術】で判定します。

成功すると、拘束を解き、無事に逃げ出せます。

失敗すると、逃走に失敗し、脳に何かを埋め込まれてたことになります。

直ちに「目標表」を振り、対象に対して「もっともダメージが出そうな武器」を使用して攻撃を行います。PC3は【武勇】で判定をしてください。成功した場合、対象のPCに対してダメージを与えてしまいます。

※以後、PC3がシーンに登場した場合、シーン終了時に同じシーンにいるPCに対して同様の判定を行います。決戦フェイズの場合、乱戦ラウンドが1ラウンド終了するごとに、同じパラグラフにいるPCに対して同様の判定を行います。

辛うじて逃げ出した（もしくは、手術後に解放された）PC3は、その時のショックで、一時的に記憶を失ってしまったことを悟ります。

このシーンが終了したら、「ユゴスよりの菌類（既に名前が分かっている場合は「松戸博士）」の場所が分かり、決戦フェイズに移行することができます。

●決戦フェイズ

新宿三丁目の外れにある、潰れた飲食店の中に突入したPCたち。

そこで、事件の黒幕である松戸博士—ユゴスよりの菌類—は、（自身が手術を施したであろう）数多くの虚ろな目をした人たちを率い、待ち構えています。

松戸博士はPCに対して狂ったように叫びます。

「なぜだ！ なぜ私の研究を認めない！ トテップ細胞を埋め込めば、正気と引き替えに大きな力が手に入るのに！」

そして、PC1は、松戸博士の後ろにいる虚ろな目をした人々の中に、自身の「大事な人」がいるのを見かけます。ただちにPC1の真実を公開してください。

さらに、松戸博士の後ろから、カーメン山田が現れます。カーメン山田は恍惚とした表情で「ハハハハハ！ 匿名情報に従ってここに来たら、捕まって脳に何かを埋め込まれてしまったよ。でも、そんな事はどうでも良くなるくらい良い気分なんだ。とりあえずお前らは死ね！」と言って襲いかかってきます。

松戸博士（ユゴスよりの菌類）の構成は以下の通りです。

1：操り人形（PC1の「大事な人」） 2：なぎはらい 3：鮮やかな剣技
4：記憶の摘出 5：暴虐の神子（カーメン山田）

偵察フェイズ後、PC4の【真実】が公開されます。その効果で除外された「脅威」はゲームから取り除かれ、効果を発動させることはありません（PCが攻撃をすることもでき

ません)。

◆特別ルール

・「操り人形」にダメージを1点以上与えた場合、PC1の【真実】の効果により黒のインガが1点溜まります。

・カーメン山田にマイナスの「想い」を持つてるPCは、任意のタイミングでカーメン山田に対して「介入」を行う事で、以下のいずれかの効果を発動させることができます。

①このラウンドに限り「暴虐の神子」の「攻撃値」もしくは「防御値」を「カーメン山田への想い」の点だけ下げる。

②「暴虐の神子」が与えるダメージを「カーメン山田への想い」の点だけ減少させる。

③「暴虐の神子」が受けるダメージを「カーメン山田への想い」の点だけ上昇させる。

※カーメン山田にプラスの「想い」を持っている場合は、残念ながら上記の効果を得ることはできません。

●エンディング

PCの一撃で生命力が0になった松戸博士は、「この熱い想いが込められた一撃……そうか忘れていたよ、私が科学を志した時の想いを……。私が間違っていた……トテップ細胞なんてものは、無い方が良かったんだ……」と語り、倒れます。「神話災害」から解放されたため、ユゴスよりの菌類だった松戸博士の体は、光と共に元の白衣を着た男性の姿に戻ります。

万神殿に戻ったPCを、ヘラクレスが出迎えます。

そして、以下の事をPCに告げます。

・君たちの活躍で、新宿の神話災害の拡大は食い止められた。
・松戸博士も正気に戻り、大いに反省している。今はアポロンの監視の下、手術した相手の治療をしている。PC1の大事な人もじきに戻ってくるだろう。
・今回、他の神群同士が協力しないように動き、松戸博士を手助けしていた勢力がいたようだ。恐らくは、神々が世界を統治していた時代の再来を狙う「神統主義者」の仕業だろう。奴らが狙うのは、人々の統治を良しとする神々を皆殺しにする計画「旋血ラグナロク」。奴らの計画を阻止するため、今後も冒険を繰り返して経験を積んでくれ、とPCたちを激励します。

これにてセッションは終了です。

おつかれさまでした！